

平成28年度

## 目黒区学力調査と授業改善プラン

- I 「目黒区学力調査」の概要
- II 平成27年度「目黒区学力調査と授業改善プラン」の検証
- III 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン
  - ・本校の授業改善に向けた方策（学校全体）
  - ・第1学年～第3学年

平成28年7月  
目黒区立第一中学校

# I 「目黒区学力調査」の概要

## 1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。（原則として、特別支援学級に在籍する児童・生徒は対象としない）

## 2 調査の内容

### (1) 調査の対象学年及び対象生徒数（本校）

	1 年	2 年	3 年
対象数	46人	49人	60人
実施数	45人	46人	39人
受検率	98%	94%	98%

### (2) 調査内容と実施教科

- ① 学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）
- ② 生徒の学習に関する意識
  - 1年 意識調査、国語、数学、社会、理科
  - 2年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語
  - 3年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

### (3) 実施日

平成28年4月14日（木）

# II 平成27年度「目黒区学力調査と授業改善プラン」の検証

## (1) 成果

- 区学力調査等の結果から見られる課題を解決するために、授業改善プランでねらいとした方策を授業で実施したことにより、基礎学力の定着が見られた。
- それぞれの生徒の観点別学習状況を適切な資料で客観的に確認することで、身に付けさせる力を判断することができた。また、資料から、学年毎の学習すべきポイントを具体的に捉えることができ、課題克服のための授業を実施することができた。

## (2) 課題

- 学力の定着分布を見ると2層に分かれている教科がある。学校全体の学力向上を推進するために、基礎学力の一層の向上を図ると共に活用の能力の向上を図る授業の工夫をしなければならない。
- 教科担当教員の異動に関わらず、学力調査等の結果を踏まえた授業改善プランによる授業内容の改善が継続されるように、引き継ぎが行われるように注意する。

### Ⅲ 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン

#### 〈本校の授業改善に向けた方策〉

##### ○ 指導方法等の工夫について

- ・授業規律の確立、教科教室等での授業ルールを徹底させ、学力の確実な定着を図る。
- ・タブレットPCやICT機器の効果的な活用を推進し、これまで以上に生徒の興味・関心を高め、学ぶ楽しさを実感できる授業を展開する。
- ・数学、英語において東京方式習熟度別指導ガイドラインに則った少人数指導を行い、個に応じた指導の工夫・改善を図る。
- ・国語、理科、社会では、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るために少人数授業やチームティーチングを行うなど工夫した授業展開をする。
- ・習熟度別少人数学習集団が学力向上に繋がる集団と成るように編成を工夫し、効果的な学習集団となるよう、教科での話合いを充実する。

##### ○ 校内研修・研究の工夫について

- ・校内研究の主題を「21世紀型能力の育成につながる主体的な学びの実現～教科指導におけるタブレットPCの有効活用～」とし、思考力・判断力・表現力を高め、生徒の主体性を伸ばし、確かな学力の定着と伸長を目指す。
- ・全教科でICT機器（タブレットPC）を活用した研究授業を実施し、言語活動を通して思考力、判断力、表現力の育成を目指した授業を構築できるように取り組む。
- ・研究授業の検証成果を全員で共有し、各教科の授業実践に取り入れる。

# 第一中学校 第1学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策
国語	<p>○小学校で学習した漢字を読むことができる。</p> <p>○文章の構成や展開をとらえたり、登場人物の心情を考えたりできる。</p> <p>○敬語、ことわざについて理解している。</p>	<p>○毎回、小学生の復習として漢字の書き取りを行う。教員が短文を音読してその中にある漢字を書かせる形式を取り、文章にあった漢字を書けるように指導する。</p> <p>○説明的な文章を扱う際に、文章の構成、序論、本論、結論といった各まとまりの役割を理解させ読解力を高める。また、物語や小説の中で情景描写や登場人物の心情を生徒自身が考える設問を出して思考を深めさせる。</p> <p>○敬語やことわざは日常会話で活用できるようにまとまった時間で説明し、小テストを実施する。間違いや理解していない箇所を繰り返し復習し、習得させる。</p>
社会	<p>○地理の「我が国の水産業や工業」や歴史の「平安時代の貴族の暮らし」など、基礎的な知識の習得させる。</p> <p>○我が国の季節風の図示や資料の読み取りなどの技能の習得をさせる。</p>	<p>○毎時間の授業の終わりに学習内容を確認し、また次の授業の始めに前時の復習を行うなど、反復学習による知識の定着を図る。</p> <p>○各単元において、デジタル教科書を使用し、ICT機器を活用しながら、資料集や地図帳などの様々な資料を使って、資料を読み取る力を育む。</p>
数学	<p>○分数・小数を含む四則演算の演習力を向上させる。</p> <p>○反比例に関する知識・理解をさせる。</p>	<p>○毎回小テストで既習事項の振り返りを行い、演習を多く積む。校内計算コンテストの実施により、既習の計算について振り返り、意欲的に演習を行う場面を作り、計算力の向上を図る。</p> <p>○算数の反比例の内容をしっかりと振り返る時間を設け、丁寧に授業を展開し、知識・技能の確実な定着を図る。</p>
理科	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。</p> <p>○資料を基に考察し、表現する力を習得させる。</p> <p>○観察・実験を通して考え表現する力を習得させる。</p>	<p>○基本的な知識の定着のため、問題演習を行う。</p> <p>○デジタル教科書やICT機器を活用し、分かりやすいデジタル資料を使用し、その資料から法則などを読み取り、説明する力を育む。</p> <p>○観察・実験の結果からどのような事がら分かるか、順を追って考察し、論理的に説明する力を育む。</p>
英語	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の定着のため、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく身に付け、理解が深まるようにする。</p>	<p>○小中の接続期に起こりがちな中1ギャップの問題を軽減するため、「聞くこと・話すこと」ことから導入をし、徐々に「聞くこと・話すこと」活動を取り入れていく。また、理解を深めるためにペアワークやグループ学習などの共同学習を取り入れていくことで、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。</p>

## 第一中学校 第2学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等からみられる課題	授業改善の方策
国語	<p>○小学校で学習した漢字を書くことができる。</p> <p>○指定された文字数で文章をまとめて書くことができる。</p>	<p>○漢字の読み書きの能力を高めるため、小学校で既習の漢字や新出漢字の「基本的書き取り」練習を年間を通して実施する。また、総合的復習問題を計画的に実施し、確実な定着を図る。</p> <p>○文章をまとめて書く能力を高めるため、年間を通して授業で課題を与え、繰り返し学習をする。また、字数制限を設けた小作文のテスト等を継続的に実施し、力を育成する。</p>
社会	<p>○ヨーロッパの気候が偏西風の影響を受けていることなど、資料を読み取る。</p> <p>○飛鳥文化、平安時代など古代までの日本についての知識・理解を図る。</p>	<p>○地図や表などの資料を活用した課題を用意し、資料活用能力の育成を図る。</p> <p>○授業の最後に学習した内容を確認し、次の時間の最初に再確認させる。</p>
数学	<p>○負の数の大小関係についての理解を図る</p> <p>○比例・反比例のグラフから読み取れることについての理解を図る</p>	<p>○小テストによる正負の数の大小についての復習。文字式や関数の授業においても、負の数についての大小関係について振り返りながら授業を進め、確実に理解させる。</p> <p>○一次関数の授業内で、関数のそれぞれの表現の仕方(表・式・グラフ)についてのつながりが明確になるように、ICT機器を活用し、傾き等の意味について理解させる。</p>
理科	<p>○観察、実験における言語活動を充実させる。</p> <p>○探究する活動を増やす。</p>	<p>○デジタル教科書やICT機器を利用し、モデル図や表、グラフ等を活用した学習を通して、課題を見だし、観察、実験の結果をより深く考察させる。</p> <p>○生徒自身が問題を見だし観察、実験を計画する学習活動を行い、結果からどのようなことがいえるかスモールステップで考えさせ、法則性などを探求していく機会を増やす。</p>
英語	<p>○対話文の応答をさせる。</p> <p>○語彙の知識・理解を深める。</p> <p>○長文の読み取りをさせる。</p>	<p>○リスニング活動を継続していくと共に、デジタル教科書の活用やALTとの対話の中で、英文でやりとりする活動を増やす。</p> <p>○授業の中で新出単語について、繰り返しの音読練習を行うと共に、本文の書き取りを習慣化させる。</p> <p>○教科書本文の精読とともに、平易な内容のまとまった量の英文を読む回数を増やす。</p>

# 第一中学校 第3学年授業改善プラン

教科	区学力調査の結果等から みられる課題	授業改善の方策
国 語	<p>○説明的文章や文学的文章の内容を読み取る。</p> <p>○文章をまとめて書くことができる。</p>	<p>○説明的文章の単元において、授業中の口頭による発問を増やし、年間を通して繰り返し学習を重ねる。また、ワーク等の問題集をできるだけ多く利用し構成や展開をとらえる力を育成する。</p> <p>○文章をまとめる能力を高めるため、年間を通して授業で課題を与え、まとめることを繰り返し学習をする。また、字数制限を設けた小作文のテスト等を継続的に実施し、まとめて書く力を育成する。</p>
社 会	<p>○日本の地域区分、都道府県の名称と位置、都道府県庁所在地に関する地理の基礎的な知識の習得をさせる。</p> <p>○自由民権運動など明治時代の歴史の基礎的な知識の習得をさせる。</p>	<p>○授業の最初に学習した語句を確認し、次回の授業導入で再確認させる。</p> <p>○デジタル教科書や実物投影機、ビデオ教材などを活用し、楽しみながら知識の習得ができるようにする。</p>
数 学	<p>○連立方程式の利用の問題についての式の読み取り、文字の意味についての理解と解法の習得をさせる。</p> <p>○一次関数のグラフについての特徴と式の意味の理解をさせる。</p>	<p>○1つの問題において、その方程式の式の意味とおいた文字が何を示しているか読み取ることを毎回確認し、式の意味を考えながら方程式を解く習慣をつけさせ、解法を習得させる。</p> <p>○小テストによる復習。関数の式の意味と表・グラフとの関連について、ICT機器を活用し視覚的に理解を深めさせる。</p>
理 科	<p>○観察・実験における技能習得と言語活動をさせる。</p> <p>○科学的な用語や概念を使用して説明する表現力を向上させる。</p>	<p>○観察、実験を少人数で実施しながら、確実に技能を身に付けさせる。また、結果をより深く考察させ、発表することにより表現力を高める。</p> <p>○熟度別少人数制の特長を生かし、さらにデジタル教科書などを取り入れることで解りやすい題材を取り入れるなどの工夫をした授業を行い、積極的な発言の場をつくる。</p>
英 語	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。</p>	<p>○少人数習熟度別指導を活用し、特に基礎コースでは個別指導を適宜入れながら、全体の底上げを図って行く。</p> <p>○リスニング活動を継続していくと共に、デジタル教科書の活用やALTとの対話の中で、英文でやりとりする活動を増やす。</p> <p>○授業中に英文の書き取りを行う。</p>